

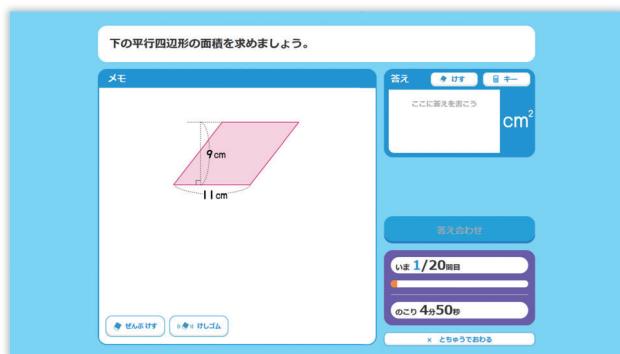
### 図形コンテンツがあって、とても便利！



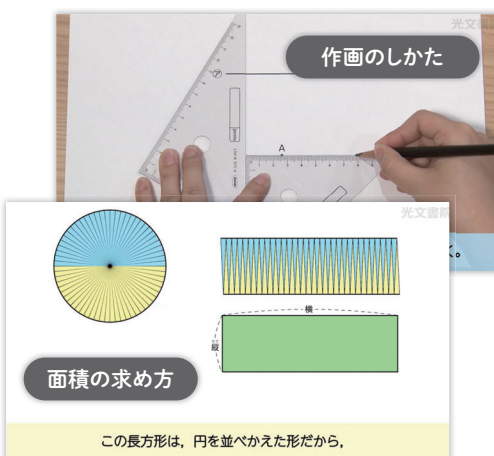
大阪府富田林市  
伏山台小学校  
杉谷先生

デジ計はシンプルなレイアウトでとても見やすく書き込みやすいです。子どもたちは苦手なわり算の筆算を意欲的に学習していました。まるで先生が赤ペンで書いてくれたように大きなマルが表示され、一瞬で正誤がわかるため「うれしいな、次も挑戦したい」と思えたようです。

意欲を引き出す工夫は他にもありました。それは5年生の算数で扱う面積・体積の問題で、図形を分割する補助線を容易に書き込めたことです。紙だと一回書いてしまうと線が残りますが、タブレット上では何度も書き直すことができます。消しゴムでうまく字を消せない子どもたちにとってはストレスなく問題に集中できると感じました。また何度も書き直せることで子どもたちは多様な考え方を話し合うことができていました。最後に、やはり自動採点も教師には心強い味方です。



### 「きほん動画」で、作図や面積の求め方がわかる！



東京都東村山市  
野火止小学校  
淵上先生

計算問題に加えて、作図のしかたや図形の面積の求め方などを教えてくれる「きほん動画」の部分も活用しています。デジ計をインストールしてあるパソコンを教室に持ってきてテレビにつなげば、クラス全体に情報が共有できるので助かります。授業で図を黒板に書く時はどうしても子どもたちに背を向けてしまうこととなりますが、デジ計をテレビに映せば、黒板の方を向かなくてよいので、それぞれの児童が取り組む様子を把握できるのがよいところです。

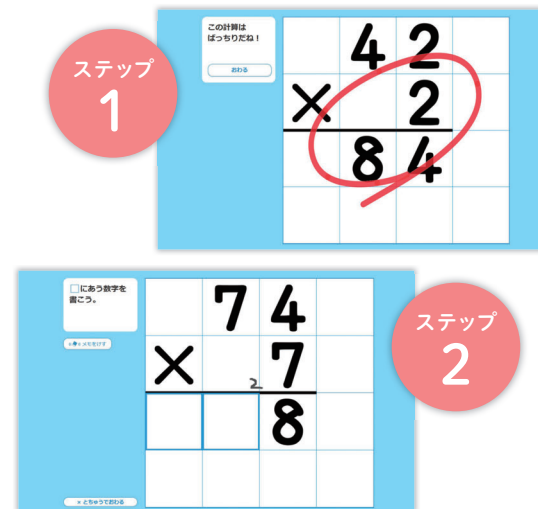
### 「にゅうもん」でステップを確認できる！



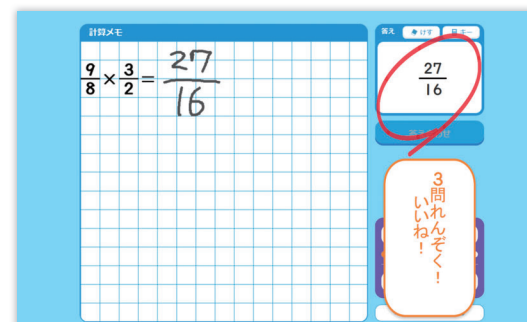
山形県米沢市  
窪田小学校  
阿部先生

算数は、得意な子とそうでない子の差が高学年になればなるほど大きくなってしまっていて、授業中にひまになってしまう子が多いように感じていました。そんな中、デジ計を使ってみると、上位の子は何分で何問解くか、取り組む問題数と時間を自ら設定してチャレンジできます。一方、低位の子向けには「にゅうもん」が用意されていて、ステップ1ができればステップ2...といったようにゆっくり確実に進めていくことができたので、これはすごく便利だと思いました。気軽に前の学年の問題に戻って復習ができるのも助かりますね。また、低位の子は、そもそも字を書くのが苦手だったりするので、タブレットになるだけで算数に対するの苦手意識は減っていると感じます。

児童一人ひとりが自分のレベルに合わせた問題を選ぶので、プリントを用意するような準備の負担もかなり軽減されました。



### 計算単元での使い勝手がよい！



神奈川県横浜市  
茅ヶ崎台小学校  
今村先生

分数のかけ算・わり算など、主に計算問題の単元でデジ計を使いました。授業では、学習計画表に、該当のデジ計の問題番号を書いた資料を配って、子どもたちが自分は今どこまで進んでいるか、どこまで終わっているかが把握しやすい工夫しました。

デジ計は、その場ですぐに答えの○×がわかるのはもちろん、間違えた問題が最後に一覧になって出てきて、そこをクリックするともう一回チャレンジできるのがいいなと思っています。自分の解答の何が間違っていたか、苦手なところもすぐわかるので非常に便利です。その間違いに対して、次に自分はここを注意しようという方策もすぐにとれるので、定着度も非常に高いと感じています。ひまわりポケットは光文書院の対象の教材を買うと無料で使えるところもポイントだと思います。費用の面で考えても導入しやすいのではないのでしょうか。

